

交通状況の変化

- 開通前の大分川河口部 5橋から、240百台/日が**宗麟大橋**に転換。滝尾橋では125百台/日減少。
- 滝尾橋を渡る(主)大分臼杵線では**渋滞長が減少**。一方、下郡工業団地入口交差点等では、交通が集中し、**渋滞長が増加**。

図-1 各橋梁の断面交通量

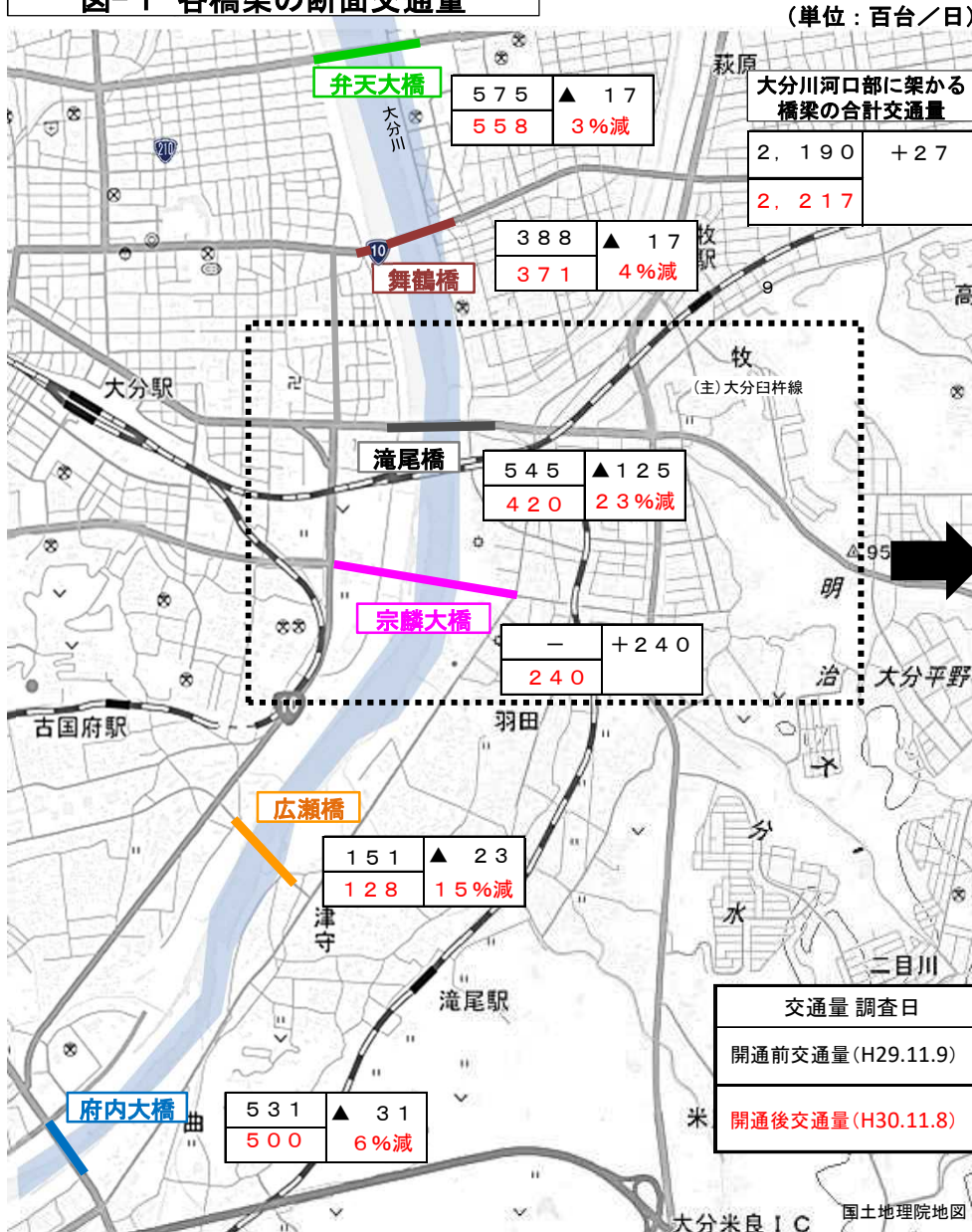


表-1 大分川を渡る橋梁の分担割合

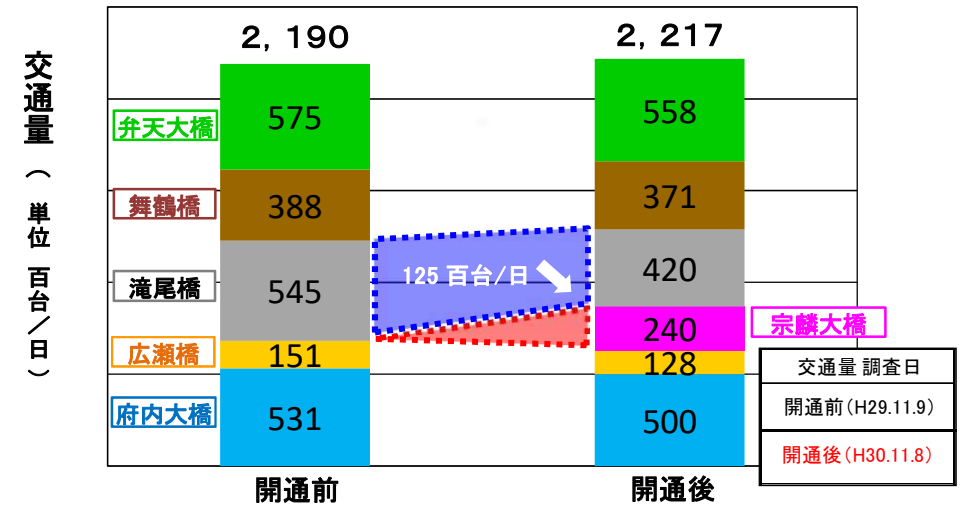
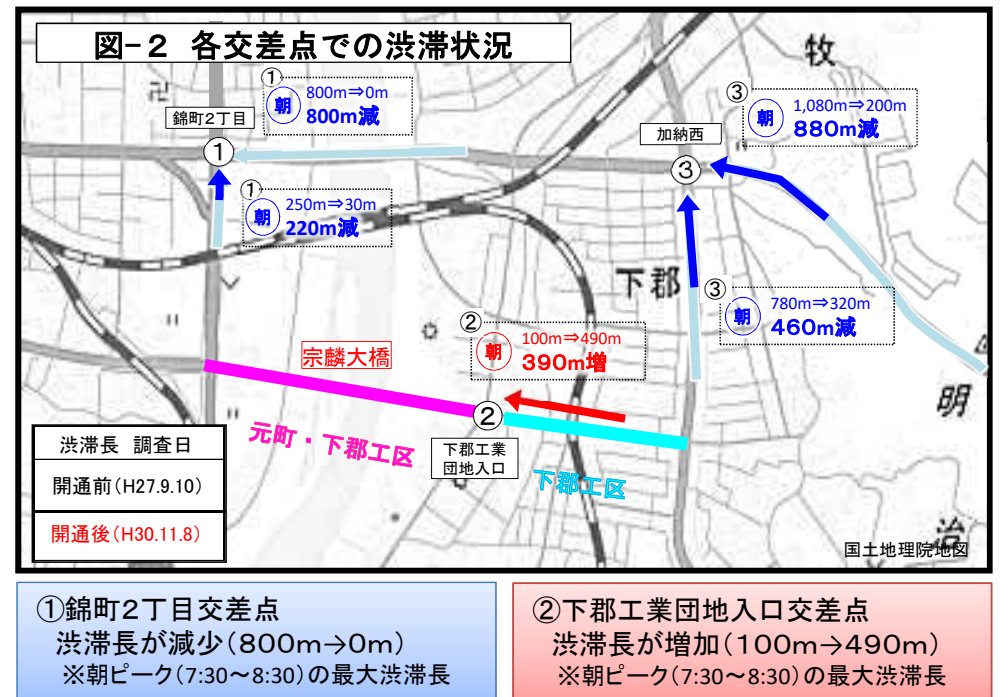


図-2 各交差点での渋滞状況



■主な整備効果

○渋滞の緩和。

・バスの所要時間短縮。郊外から市内中心部へ向かうバスの所要時間が最大で11分短縮(長谷町から顕徳町の区間)。

○災害時における代替道路を確保。広域防災拠点へのアクセスが向上。

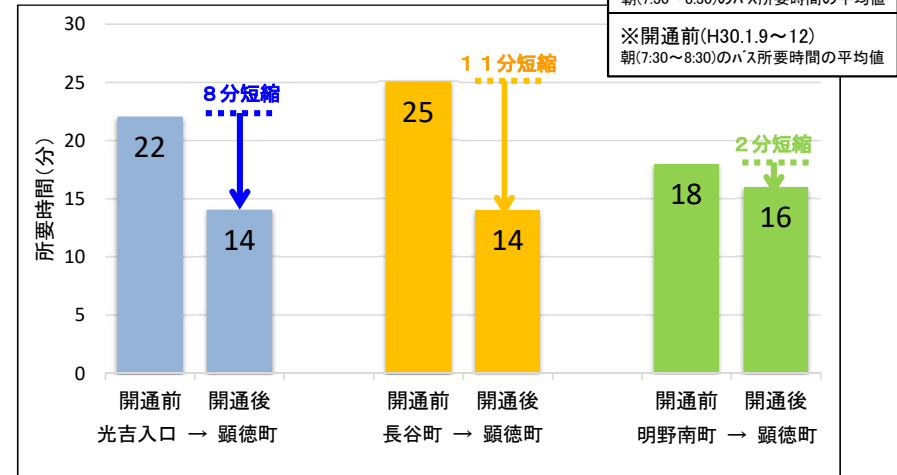
図-3 今回検証したバスルート



国土地理院地図

表-2 バス所要時間の変化

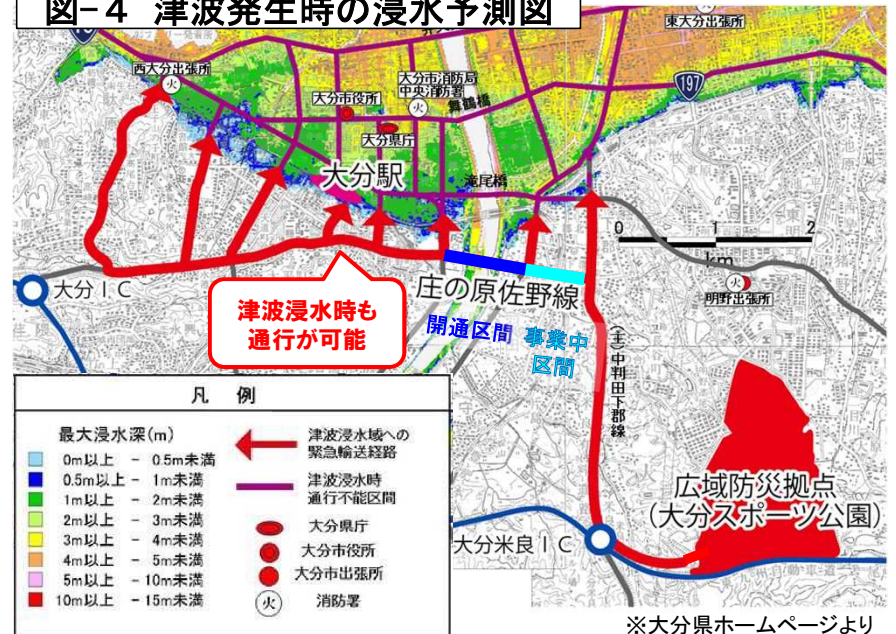
大分バス(株)提供「バスロケーションシステム」から算出



※開通後(H30.11.5~9)
朝(7:30~8:30)のバス所要時間の平均値

※開通前(H30.1.9~12)
朝(7:30~8:30)のバス所要時間の平均値

図-4 津波発生時の浸水予測図



■今後の課題

- 渋滞が悪化した箇所への対応。
 - ・開通後、渋滞が悪化した下郡工区の早期整備に取り組む。

【下郡工区の概要】

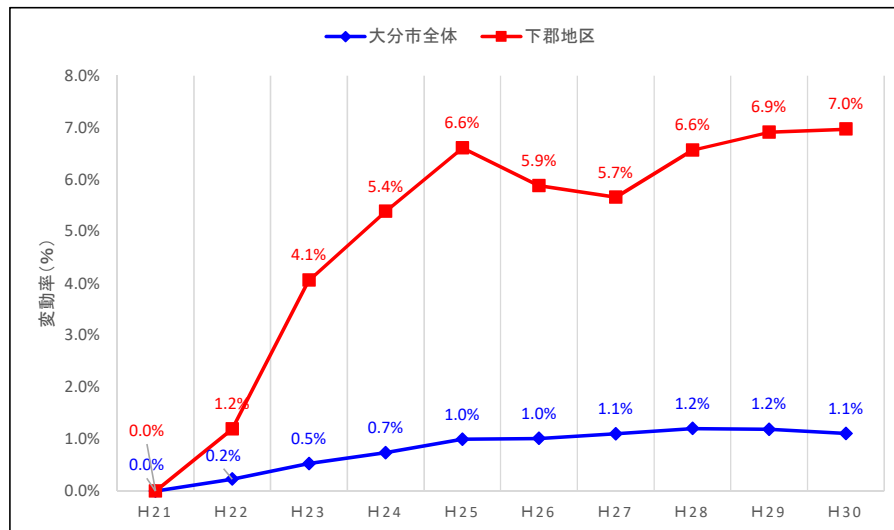
- ・事業期間:平成29年度～平成38年度(予定)
- ・事業延長:L=900m
- ・事業区間:下郡工業団地入口交差点(下郡バイパス)～南下郡東下交差点(米良バイパス)
- ・事業進捗:現在、測量・設計を実施中。
来年度以降、用地買収に着手予定。

【下郡工業団地入口交差点(朝:郊外→市内中心部方向)】



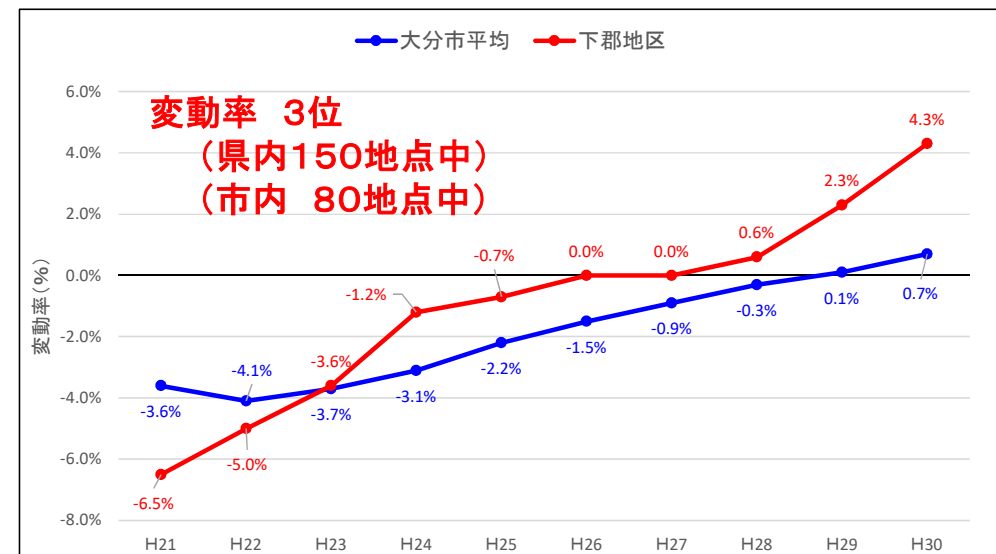
参考①:下郡校区 人口の変動

大分市住民基本台帳から算出(平成21年9月を基準とした人口変動率)



参考②:下郡校区 地価の変動

国土交通省 地価公示結果(対前年度の地価変動率)



(お問合せ先)

都市・まちづくり推進課 街路・区画整理班
主幹(総括) 佐藤 宜久
主任 山下 健作
電話 097-506-4652(内線 4652)